



19福建第 93号  
平成19年5月7日

国土交通省 道路局長 様

福岡県福津市  
福津市長 池 浦 順 文



道路特定財源見直しに関する中期計画について（意見書）

高齢化・少子化が着実に進行するわが国において、国土の有効利用、特に地方地域への振興のために道路交通の担う役割は福祉・教育・医療など図り知れないものがあります。

本市においては、福岡・北九州両都市圏の中間に位置し、国道3号を基軸とし、また、国道495号の整備により海岸線に面した観光振興の可能性を持つ自然と街並みが調和するまちづくりを目指しています。

しかしながら、近年においては狭隘な道路の改善要望が地域住民から多く寄せられ、生活に密着した道路のリニューアル化（地域生活の改善）が求められているところです。

今後、本市の道路行政において課題になるのは、これらの生活道路には一般財源から事業費を確保しなければならないことです。もちろん、市町村道への地方交付税の配分はありますが、現在の財政事情にあつては、市単独で生活道路事業を推進するのは限界があります。

今回の国土交通省の中期計画策定においては、今までの高規格道路主体で事業費投下されてきた道路特定財源を地方の市町村道路の整備にあてる交付金制度などを創設し、積極的に地方が担うべき道路行政を支援していただくことではないでしょうか。高齢者の方や子ども達にとって、豊かな生活環境創造のため、地域に密着した真に必要な道路整備に対する国からの財源に多くの期待を寄せるとともにこれらを有効活用した道路行政における地方分権の確立に努力する所存であります。